

観光料飲部会・台湾ミッション報告

秋田市への宿泊を伴う台湾旅行客の誘致に向け、台湾の主要な旅行会社等を訪問し、**秋田市の観光PRを行うとともに、台湾における旅行業界の市場動向や最新の観光ニーズに関する意見交換**を行うことを目的に、台湾ミッションを実施した。

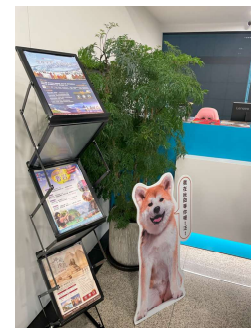
1. 期 間 2025年7月6日（日）～10日（木）
2. 場 所 台湾・台北市
3. 参加者 8名（宿泊業・旅行業・土産販売等6名、市観光振興課1名、事務局1名）
4. 訪問先
 - 7日：**タイガーエアー台湾、ライオントラベル、スタートラベル**
 - 8日：**みちのりトラベル東北台湾事務所、
フェニックストラベル、イーリートラベル、コーラトラベル**
 - 9日：**秋田銀行台北事務所、台北大同ロータリクラブ**

概要① タイガーエアー台湾、スタートラベル

- ・ **チャーター便の継続運航および送客のお礼**を目的に訪問。
- ・ 7月5日の地震予言の影響で、今年第3四半期の台湾からの観光客数は減少し、厳しい状況が続いている。
- ・ 自治体や関係機関の支援により、秋田への送客率は比較的高く維持されている。
- ・ 秋田市の観光を含むツアー商品はスタートラベルが多く取り扱い、千秋公園やねぶり流し館などの周遊が多い。 **食事処や観光資源などの情報は知らないところも多く、情報提供を希望。**
- ・ 東北は秋冬観光が中心で、 **グリーンシーズン（4月～10月）の魅力があまり知られていない。** 秋田独自の特色をこの時期に積極的にアピールする必要がある。
- ・ 日本から台湾への送客が少なく、円安やパスポート取得率の低さが影響している。 **訪台観光（アウトバウンド）の推進強化が求められる。**



タイガーエアー台湾



スタートラベル

概要② 旅行会社5社（ライオントラベル、みちのりトラベル東北台湾事務所、フェニックストラベル、イージートラベル、コーラトラベル）

- ・秋田市の観光PRを目的に訪問。
- ・秋田市の魅力が十分に伝わっていない。ツアー造成のためには観光資源や施設情報の提供が必要。台湾人はまだ知られていない観光地情報を求めている。特にダリア園、マリア像（聖体奉仕会）への関心は高かった。
- ・竿燈まつり時期や紅葉シーズンはホテル確保が困難。団体客対応可能なレストランや駐車場も不足。LCC利用の格安ツアーではホテル料金が難点。
- ・グリーンシーズン（4～10月）は需要が低く、紅葉～雪景色が人気。秋田県内では男鹿、角館、田沢湖、森吉の樹氷などが注目されている。
- ・東北では、花巻空港や仙台空港を活用する4泊周遊型が主流。
- ・旅行会社としては、団体旅行での航空便の座席確保が難しいことが課題。
- ・台湾客はツインルーム希望が多い（安さ優先）。また、部屋に風呂は必須。
- ・竿燈まつりは他のまつりと比較して体験が難しい。
- ・素食や、特殊な食事制限への対応も求められる。



ライオン



みちのり



フェニックス



イージー



コーラ

概要③ 秋田銀行台北事務所、台北大同ロータリークラブ

- ・台湾の経済事情や秋田市への誘客に関する意見交換を目的に訪問。
- ・台湾は人口2,340万人、面積は北東北3県規模。年収500万円以上は上位10%で中央値は250万円。台湾人の親日度は高く（日本76%）、旅行は「人生の一部」と考える人が多い。パスポート取得率は人口比74%で、日本人の11%と対照的。
- ・台湾から日本全体への観光客は増加しているが、秋田市への観光客は少ない。地方空港の増便、SNS・YouTuberを活用した情報発信が重要。秋田のイメージは「秋田犬」が中心で、わかりやすく独自性がある観光資源を強調する必要がある（秋田犬、横手やきそば、日本酒など）。
- ・台湾発利用は多いが、日本発が少ないため定期便開設が困難であり、双方向交流が課題。修学旅行など秋田発の利用拡大策が求められる。
- ・東北周遊ツアーは景観が似て飽きやすい。秋田単独ツアーやナイトエンターテイメントの不足も課題（温泉地の夜は静かで観光消費が少ない）。自治体による助成金拡充や企画支援が必要。



秋田銀行台北事務所



台北大同ロータリークラブ

まとめ

【成果】

今回の台湾ミッションでは、各旅行会社から秋田市の観光素材、特に「国際ダリア園」等に高い関心が示されるなど、大きな手応えを得ることができた。チャーター便を運航するタイガーエア台湾とも良好な関係を再確認し、継続運航への期待を伝えることができた。

【課題】

一方で、台湾の旅行業界からは、以下の課題が挙げられた。

- ・春～夏シーズンの魅力や、団体向け食事・施設など、具体的な情報が不足している。
- ・繁忙期の宿泊施設確保、バスの夜間運行、団体向け飲食店のキャパシティなど、受入体制に課題がある。
- ・LCC利用で価格重視のツアーにとって、市内の宿泊料金は割高感がある。
- ・台湾の旅行会社は日本の新たな観光地を求めており、宿泊や食事も含めた秋田市の観光スポットを紹介するコースの提案が求められる。

